

Patent attorney

私の目指す弁理士像

• No. 87

会 員

中 村 恵 子 •

「歌って踊れる銀行員になりたい。」

十数年前、銀行に就職したばかりの頃、人事課長に「あなたの目指す銀行員とは。」と聞かれ、思わず口から出てしまいました。「お客様に喜ばれる銀行員を目指したい。」と答えればよかったです。人前に出るとつい「受けを狙う」悪い癖が出てしまいます。そのせいか、今でも、「あなたの目指す弁理士像は何ですか。」と尋ねられると、「歌って踊れる弁理士になりたい。」と答えてしまいそうです。実際のところ、「歌って踊れる銀行員」にはなれませんでした。製造業や貿易業のお客様との取引を通じて、様々な経験を行うことができました。

銀行を退職後、フランスに留学している間に日本の景気は悪化していきました。「国際化」の掛け声で盛り上がっていた金融業は失速し、本来得意分野であったはずの製造業も苦戦していました。地価や株価の暴落あるいは企業倒産のニュースを聞くたびに、取引のあった「社長さん」たちの顔が浮かんで消えていきました。将来に関する悲観的な報道が続く中、なんとか「Made in Japan」の栄光を復活させたい、せめて製造業を支える裏方の仕事をしたいと思うようになったのです。

そこで、帰国後、現在の事務所に入所し、一から仕事を覚えることにしました。しかし、年月を経て弁理士として登録した今でも、勉強しなけれ

ばならないことばかりです。依頼者の方に満足して戴ける仕事をするにはどうしたらよいか、どうすればリスクを回避しつつ、迅速に成果を上げることができるのか、答えが出ないこともままあります。突然冷や汗をかくような事態に遭遇することも、やっぱり「便利屋」に過ぎないのだろうかと思ってしまうこともあります。

所長からは、「医者のように、依頼者の方の悩みを解決し、助けることができる存在になりなさい。」と、常日頃から言われています。私の今の実力では、そのレベルに到達するにはまだ時間がかかることでしょう。しかし、いつの日か、依頼者の方が困った時、あるいは新しいことを始める時、「まず、あの人に聞いて見ようか。」と思いついて戴ける弁理士になりたいと思います。

最近、水泳の得意な義弟から「長距離を泳ぐ秘訣」を教わりました（私はカナヅチなのです）。長距離を泳ぎきるには、常にゴールを見ながら泳いでいかなくてはならないそうです。頭では理解しても、現実の生活の中では、手足を動かすのに必死だったり、息継ぎに失敗して目を白黒させたりしています。しかし、日々の瑣事に溺れることなく、「私の目指す弁理士」に到達できるように、常にゴールを見ながら少しずつ進んでいきたいと思えます。